



学 校 便 り

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashidai/>

9月号
横浜市立東台小学校
電話 (571) 0812
令和元年 8月27日



今年の夏休み

校長 松本 久美子

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。

今年の夏は雨が多く、暑さがいつもより弱いように感じていましたが、夏休みに入ったとたん猛暑になりました。学校の水泳の時間も少なめでしたが、4年～6年生の代表のみんなが区の水泳大会に出場し、自己ベストを目指しました。5, 6年生の中で記録の良かった人は市の水泳大会に出場し、大きな横浜国際プールで自分の力を出し切りました。東台小学校からは男子3名、女子5名が出場し、自分の力を発揮しました。

学校では、体育館の屋根の工事をしました。今まで雨が降ると風向きや雨量によっては雨漏りを繰り返していましたが、ようやく工事が入り、屋根を補修しました。運動会練習に間に合うように9月中旬には工事が終わるようにお願いしていましたが、進みが早く、予定より早めに工事が終わって足場も取れそうです。

夏休み最後の土曜日には、キッズとおやじの会主催の夏祭りが校庭で行われました。大勢の子どもたちや保護者のみなさんが参加し、ストラックアウト、ヨーヨー釣りなどをしたり、冷たいかき氷でのどを潤したりしていました。夏休み最後の行事を楽しんでいるようでした。暑い中で準備をしてくださったスタッフの皆様に感謝しています。

私個人の夏休みは、ふだん会えない人と直接会って話をする機会に恵まれました。古くからの友人や親類と近況を話したり、思い出話をしたりして楽しいひとときを過ごすことができました。パソコンや携帯電話、SNSを使うことで、直接顔を合わせなくても簡単にコミュニケーションをとることができる便利な時代になりましたが、やはり顔を見て話をするのでより深く理解し合えることをしみじみ実感しました。コミュニケーションの道具はいろいろありますが、声だけでなく、表情やしぐさからも微妙な気持ちや心の動きを伝え合うことができる点では、電話やSNSよりも顔を見ながら話すことに軍配が上がるのではないのでしょうか。

さて、東台小学校では今年度、重点研究として特別活動を取り上げ、授業研究や研修を行っています。話合い活動の中で自分の考えや思いを伝えたり、友だちのことを理解したりしながら人間関係を築き、より良い集団生活を送ることができることをめあてに取り組んでいます。顔を見ながら話合いをすることのよさを感じ取り、素敵な関係を作れるように教職員一同もがんばりたいと思います。

